



平成 19 年 5 月 16 日

各 位

上場会社名 株式会社アマダ
 代表取締役社長 岡本満夫
 コード番号 6113 東証・大証各第一部
 本店所在地 神奈川県伊勢原市石田 200 番地
 問合せ先
 責任者役職名 経営企画部門統括部長
 氏 名 磯 部 任
 T E L (0463) 96-1111

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 5 月 16 日開催の取締役会において、平成 19 年 6 月 28 日開催予定の定時株主総会に付議する平成 19 年 3 月期の期末配当金、並びに平成 20 年 3 月期の配当予想について、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期期末配当金について

① 配当の内容

| | 平成 19 年 3 月期期末配当 に関する決議内容 | 直近の配当予想 (平成 18 年 11 月 9 日公表) | 前期実績 (平成 18 年 3 月期) |
|---------------|--|---------------------------------|---|
| 基準日 | 平成 19 年 3 月 31 日 | 同左 | 平成 18 年 3 月 31 日 |
| 1 株当たり 配当金 | 11 円 (中間配当と合わせて 年間 20 円) | 9 円 (中間配当と合わせて 年間 18 円) | 16 円 (中間配当を行ってない ため年間 16 円) |
| 配当金の総額 | 4,313 百万円 (中間配当と合わせて 年間 7,840 百万円) | — | 6,263 百万円 (中間配当を行ってない ため年間 6,263 百万円) |
| 効力発生日 | 平成 19 年 6 月 29 日 | — | 平成 18 年 6 月 30 日 |
| 配当原資 | 利益剰余金 | — | 利益剰余金 |

② 理由

平成 19 年 3 月期の連結業績は、事業環境が好調に推移する中、重点戦略商品の増販、海外市場の拡大等を強力に推進してまいりました結果、売上高 2,622 億円 (対公表予想 4.5%増)、営業利益 390 億円 (同 14.0%増)、経常利益 444 億円 (同 13.5%増)、当期純利益 275 億円 (同 14.6%増) と、売上・利益ともに公表予想値を上回る実績となりました。

これを踏まえ、期末配当金につきましては直近予想より 2 円増額の 1 株当たり 11 円とすることといたしました。これにより、中間配当金 (1 株当たり 9 円) と合わせた年間配当金は、1 株当たり 20 円と前期と比較し 4 円の増配となります。

2. 平成 20 年 3 月期配当予想について

平成 20 年 3 月期の連結業績予想につきましては、売上高 2,850 億円（対平成 19 年実績 8.7%増）、営業利益 452 億円（同 15.6%増）、経常利益 500 億円（同 12.4%増）、当期純利益 290 億円（同 5.4%増）と、増収・増益の予想であります。

これに伴い、配当予想につきましても、現時点では 1 株当たり年間 2 円増配の 22 円（中間 11 円、期末 11 円）を見込んでおります。

（御参考）配当の推移

| 期 別 | 1 株当たり配当金 | | |
|------------------|-----------|------|------|
| | 中 間 | 期 末 | 年 間 |
| 平成 18 年 3 月期 | — | 16 円 | 16 円 |
| 平成 19 年 3 月期 | 9 円 | 11 円 | 20 円 |
| 平成 20 年 3 月期（予想） | 11 円 | 11 円 | 22 円 |

（注）平成 19 年 3 月期の期末配当金につきましては、平成 19 年 6 月 28 日開催予定の定時株主総会に付議する予定額であります。

以 上